

－ 会 員 募 集 －

公益社団法人日本水難救済会では、会員（2号正会員または賛助会員）となって、本会の事業を支援していただける方々を募集しています。

2号正会員は、本会の事業目的に賛同して、年会費1口（1万円）以上を納付され入会される個人又は団体の方で、正会員になりますと社員総会への出席など本会の事業に参画することができます。

賛助会員は、正会員以外であって、金品を寄附して本会の事業を賛助するため入会される個人又は団体の方で、本会にご寄附された方は、所得税・法人税の控除を受けられる特典がございます。

◆会員への入会を希望される方へ

入会を希望される方は、本会に電話、FAXでご連絡又は本会ホームページの「会員登録／お問い合わせ」にて、必要事項を記入して本会にお申し込みください。本会から「入会申込書」などをお送りいたします。



連絡先：公益社団法人 日本水難救済会

☎03-3222-8066 FAX 03-3222-8067

<http://www.mrj.or.jp/index.html>

編 集 後 記

- ☆ 東京2020オリパラでは、多くのドラマが生まれましたが、特に、日本の国技である柔道において、優勝を決めた大野選手、阿部一二三選手等は、勝利の後も相手選手への礼儀を守り、最後の礼を終え試合場から降りるまで、決してガッツポーズをしませんでした。これは、武道の世界では当然ですが、普段の生活においても心すべき精神であると思います。
- ☆ 海難救助も、全ての人に敬意を持って救助の手を差し伸べるといふ精神が根幹であります。伊豆地区水難救済会下田救難所加藤紀久夫救助長、伊東救難所日吉直人救助長が「海で人を助けるのはあたりまえ」と仰っています。感動で原稿を読む目が潤むのを覚えました。正にこのような方々の崇高な使命感が日本の海の安全を守っていると強く認識しました。
- ☆ 今年も全国で、青い羽根募金が展開されております。京浜急行電鉄の原田一之社長は、「当社は、市民の皆さんと三浦半島の海とを結ぶ鉄道であり、市民の方々の海での安全を守ることに少しでも貢献したい。」と仰っていただき、72か所全駅でのポスターの掲示、青い羽根募金のご協力、そして、横須賀中央駅等2か所への自動販売機の設置を快諾していただきました。京浜急行電鉄の皆様はじめ、募金活動にご協力いただいている全国の皆様に厚く御礼申し上げます。
- ☆ 夏のマリンレジャーシーズンを迎えております。コロナで閉鎖され監視の行き届かない海水浴場での事故、ミニボートやSUPの事故の増加が懸念されます。当会では、海上保安庁とも協力し、美しい海が悲しい海にならないよう、「海の安全教室」を通じた安全思想の普及など海での事故の未然防止に取り組んでおります。酷暑の中、全国の海で、海難事故の未然防止活動、海難救助活動にあたっておられる会員、救助員の皆様に深く感謝致します。
- ☆ 令和3年度名誉総裁表彰を受章された皆様には、コロナ禍で名誉総裁からの直接の授与ができず申し訳ございません。皆様のご貢献が日本の海の安全を支えていることに改めて心より感謝申し上げます。今後とも、当会の活動へのご支援、ご協力をお願い致します。

（常務理事 遠山 純司）